

株式会社ケアコムによる地域への取り組み 「ケアコム農園祭」

協働事例の概要

株式会社ケアコム玉村工場で所有している農園を、地域の住民にも開放できないかという試みから始まった収穫祭イベント。2015年から開始。当日の運営は大学生ボランティア、イベントのステージ発表は町で活動する市民団体が参加。また、玉村町に在住する外国人と住民の接点にもなるよう、外国人支援団体にも協力を得て料理を提供するブースを出店。付近にある国の有形文化財でもある重田住宅を第2会場とし、電動バスで移動し地域おこし協力隊の協力によりポテトチップスづくりを行った。



株式会社 ケアコム

<https://www.carecom.jp/>

代表 池川 充洋

住所 玉村町箱石 419 番地 1 (群馬工場)

主たる事業 ナースコールの他、医療システムの開発及び製造



協働における役割

- ・ 農園祭の運営を手伝ってくれる団体への呼びかけ
- ・ 会場設営
- ・ 後援機関への依頼

協力団体

- ・ 玉村町住民活動サポートセンターぱる
- ・ 群馬県立女子大学、高崎健康福祉大学、東京医療保健大学
- ・ 日越ぐんま友好協会
- ・ 玉村町地域おこし協力隊
- ・ 全国食肉学校

後援

- ・ 群馬県
- ・ 玉村町
- ・ 玉村町教育委員会
- ・ 群馬県社会福祉協議会

協働したことの相乗効果

- ・ 普段は従業員の福利厚生に活用されている農園を一般開放することで、より多くの地域住民に会社を知ってもらうきっかけとなった。
- ・ 収穫を通じた従業員と地域住民の交流
- ・ 収穫した無農薬野菜を使った料理を提供するコーナーを設けることで、健康づくりと外国の食文化に対する関心をもってもらえる。
- ・ 日頃地域で活動している団体に、ステージ発表の機会を提供